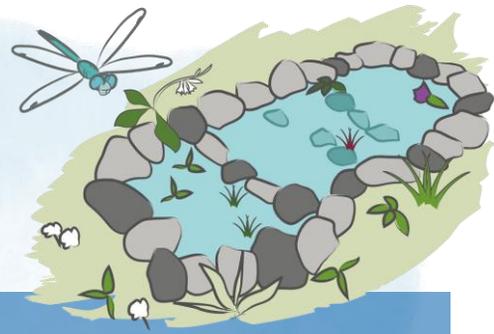


加賀電子ビオトープ NEWS

- 第1号 - 2023年7月の調査報告



* TOPIC *



シオカラトンボ



ヤゴ(幼虫)



オオシオカラトンボ

2種類のトンボを確認!

今年5月に完成したばかりの加賀電子ビオトープに、早速2種類のトンボが! シオカラトンボ(成虫)と、オオシオカラトンボのヤゴ(幼虫)です。ヤゴがいるということは、トンボが子育ての場として加賀電子ビオトープを選んでくれたということです!

* 今回の調査で見つかった生きもの *



コカゲロウの仲間



ヒメアメンボ



トゲバゴマフガムツ



ミゾコウジュ



シャジクモ

ビオトープの生きものを観察するときは、立ったままではなくしゃがんでじっくり観察するのがおススメ! まずは水中にいる「コカゲロウ」の幼虫を探してみましょう。8mmほどの小さな水生昆虫です。目が慣れてくると、もっと小さなつぶつぶの生きもの「ミジンコ」の仲間が見えてきます。これらの小さな生きものがたくさんいると、それを食べるトンボのヤゴもこの場所で育つことができます。

* COLUMN *

ビオトープの『土』のヒミツ

この池の底には、近隣の緑地から譲り受けた「地元の土」が敷かれています。土の中には、この地域で昔から命を繋いできた貴重な植物のタネや胞子が含まれています。その胞子が発芽し、シャジクモという藻の仲間がたくさん育ちました。田んぼなどでよく見られた植物ですが、今では生育できる場所が減り絶滅危惧種になってしまいました。この池が、地域の貴重な命を繋ぐことに貢献しています。



調査・監修
NPO birth 久保田 潤一



これからも地域の自然を大切に、人と自然がずっと仲良く暮らしていける社会を作っていきましょう!

発信:加賀電子(株) IR・広報部